



1、2年目は社内の他部署に所属していた山田さん。そのときに築いた人とのつながりのおかげで社内の人との連携がとりやすくなっているそう

私は、岡本興業の社員ですが、入社3年目からグループ会社の北信産業に出向※して働いています。

工場と現場の間を取り持つ橋渡し的存在

私は、岡本興業の社員ですが、入社3年目からグループ会社の北信産業に出向※して働いています。

私の仕事は、岡本興業の工場でつくった生コンクリートや碎石※を建物や道路などの工事現場で使ってもらえるように販売すること。自社と相手企業の利益を考えながら価格を決め、お互いに納得して取引ができるよう心がけています。

商談後、現場で使つてもらえることになつても仕事は終わりません。工場、現場、運搬会社（ダンプカー）それぞれと連絡を取るのも私の仕事。現場は常に状況が変化するものなので、状況に応じて各所と連絡を取り合い、臨機応変に対応するのが大切です。以前、道路工事の現場から急な要請があり、翌日から1か月間、毎日ダンプカー50～100台分もの碎石を運ぶことになりました

## 営業

各工事現場に自社の工場で製造した碎石や生コンクリートを販売する仕事。

# 各企業と連携して 急な変更にも柔軟に対応

私の仕事は、岡本興業の工場でつくった生コンクリートや碎石※を建物や道路などの工事現場で使ってもらえるように販売すること。自

社と相手企業の利益を考えながら価格を決め、お互いに納得して取引ができるよう心がけています。

たが、グループの工場、運搬会社に

お願いしたところ、快く協力してくれたり、どうにか対応することができました。工事が無事に終わり、現場の方から感謝の言葉をいただい

たときには、うれしさや楽しさ、達成感などが同時に込み上げてきたのを覚えています。その後、その道路を通ったときに、子どもたちに「この道路をつくるときにパパも仕事をしたんだよ」と自慢しましたよ。

た。大型連休直前の忙しい時期でし

たが、グループの工場、運搬会社に

お願いしたところ、快く協力してくれたり、どうにか対応することができました。工事が無事に終わり、現

場の方から感謝の言葉をいただい

たときには、うれしさや楽しさ、達成感などが同時に込み上げてきたのを覚えています。その後、その道

路を通ったときに、子どもたちに「この道路をつくるときにパパも仕事をしたんだよ」と自慢しましたよ。

※出向:会社の命でほかの会社の仕事に就くこと  
※碎石:岩石を碎いて細かくした資材

## 取材協力

### 【岡本興業株式会社】

土木や建設の資材となる碎石や生コンクリートの製造販売を行う。道路舗装や土木工事、道路維持除雪、産業廃棄物処理、運搬など社会基盤の整備に貢献している。

〒005-8585 札幌市南区真駒内本町1丁目1-1  
TEL 011-841-1435

HP <http://www.okamotogroup.co.jp>  
設立 1963(昭和38)年7月 営業員数 154名

代表取締役社長 岡本 繁美

岡本興業株式会社  
札幌事業部

山田 悠太 さん(31歳)

出身中学校：共和町立共和中学校  
出身高校：北海道岩内高等学校



## みなさんへメッセージ

人の繋がりは  
大切に!!

